



十日町なか

元気プロジェクト

Tokamachi Central City invigoration master plan

新たなにぎわいを!



魅力あるまち
を作る!



日本のまち・中心市街地を取り巻く環境

平成25年6月 産業構造審議会中心市街地活性化部会「中心市街地の再活性化に向けて（提言）」より抜粋

◆全国の多くの中心市街地が、そして、多くの地方都市が、危機に瀕しています。

急速に進む 人口減少・高齢化

全体の人口が減少し、高齢者の割合は増加しています。日常の買い物が不便、医療機関への通院が不便と感じる高齢者が増加傾向にあります。



中心市街地で必要な機能を効率的に提供

まちなかの商機能の衰退 による買い物弱者の増加

高齢化が進む中で、日常の買い物に不便を感じるいわゆる「買い物弱者」の問題が深刻化しています。買い物の苦勞が増えた理由として「行きつけの店が閉店した」という回答が多くみられます。



中心市街地の商機能を取り戻す

拡散したまちの インフラコストの増大

今後、住民一人あたりの社会資本維持、管理等費用の大幅な増加が見込まれています。まちによっては、人口の郊外化によって除雪等にかかるコストも大きな負担となっているとの指摘もあります。



コスト効率 **良**

郊外から中心市街地へまとまる

コスト効率 **悪**

中心市街地が魅力を取り戻す

まちの顔としての 中心市街地の重要性

中心市街地は他の地域から見た「その地域の個性」を表す役割や、人々をつなぐコミュニティの役割、住人のよりどころとして役立つ事が求められています。

十日町って…



中心しっかり!

バラバラ…

中心市街地が魅力を取り戻す

私達のまち“十日町市”は…

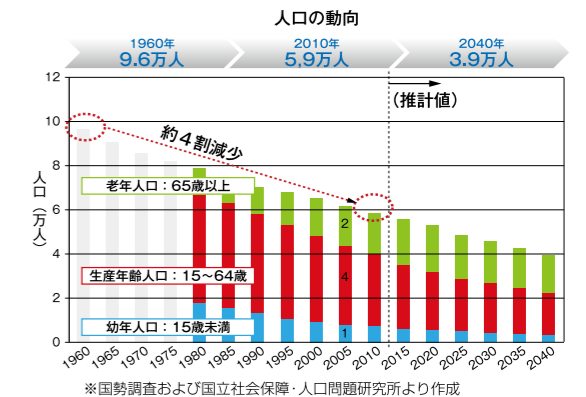
わたしたちの住む十日町市は、今どのような状態なのでしょう。みなさんの住む「まち」の将来、十日町市の「未来」を、一緒に考えていきたいと思います。

①人口がますます減ります。30年後の十日町市は…

市全体の人口は50年前に比べて約4割減少しています。さらに2040年(平成52年)には約3.9万人までに減少することが予測されます。このまま人口が減少すると、まちの広がりとともに人口密度も低くなります。このままでは、非効率化による市民サービスのコストの増加や地域コミュニティの低下が懸念されます。

市全体の人口変化	1960年(昭和35年)	約9.6万人	100%
	2010年(平成22年)	約5.9万人	60%
	2040年(平成52年)	約3.9万人	40%

※右は1960年を100%とした変化の割合



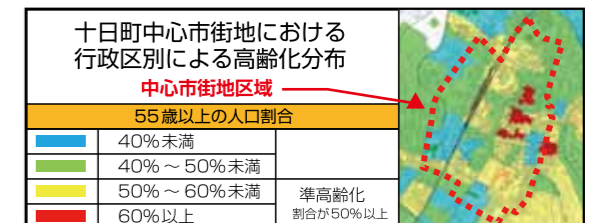
※国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所より作成

②中心市街地においても少子高齢化は他人事ではありません。

中心市街地においては少子高齢化が市全体より進行しています。また、中心市街地には準高齢化(55歳以上の人の割合が50%以上)の町内が多くなっています。その中心部においては55歳以上の人の割合が60%を超える町内もあります。人が減ると同時に空き地や空き家が多くなってきています。このままでは、ますますお年寄りばかりの町内が増え、地域コミュニティが衰退し、地域住民による見守り、災害時の助け合いの対応などが困難になります。また、空き地や空き家が増えることは、防犯や安全にも不安が多くなります。

65歳以上の割合	市全体	34.8%
	中心市街地	35.7%

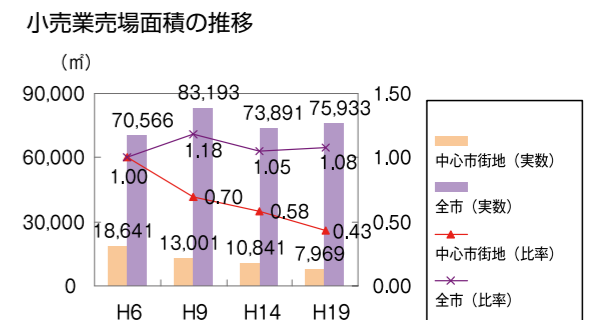
※H27.3.31 住民基本台帳より



③このままでは、「まちの顔」「みんなのよりどころ」がなくなります

中心市街地は、銀行や病院、商店などのまちの魅力が多く集まっている所ですが、商店については年々減っています。中心市街地はこればかりではなく、みんなが楽しみにしている「雪まつり」や「きものまつり」、「おまつり」などが行われる所でもあります。このままでは、人が減りまちの機能が維持できなくなり、「まちの顔」や「みんなのよりどころ」である中心市街地がなくなってしまいます。

中心市街地の店の面積	平成6年	18,641㎡
	平成19年	7,969㎡(平成6年の半以下に)



このままでは…

- 人口減少、少子高齢化
- 空き地、空き家の増加
- まちの魅力や商業機能の低下
- 地域コミュニティの活力低下
- 行政コストの増大による市民サービスの低下

十日町市全体の活力の低下が心配されます。

中心市街地の**活性化**が必要です

「新たなにぎわい」に満ちた 「魅力あるまち」の創造



まちなか居住の促進▶ 雪国でも快適で安心して暮らし続けられるまち

- まちなか居住を促進し、生活環境の魅力を向上させるため、市民の除雪の負担を軽減する支援策や、居住促進のための支援策等を拡充するほか、人口減少・少子高齢化に対応した居住施設を整備します。

- アップルとおかまち (サービス付高齢者向け住宅、ファミリー向け都市型、住宅整備事業)
- 克雪すまいづくり支援事業 ほか

雪国でも快適で安心して暮らし続けられるまち

郊外から引っ越して来たマスさん



にぎわいの創出▶ 歩いて楽しいまち

- 人口減少・少子高齢化にともない、今後需要が増大すると予想される子育て世代や高齢者の支援を目的とした生活利便施設を整備します。
- 中心市街地内の魅力と商店街のにぎわいを創出します。

- 市民交流センター
- アップルとおかまち (老人デイサービス施設整備・子育て支援施設整備事業)
- 十日町産業文化発信館「いこて」整備事業 ほか

郷コンで出会ったじゅんさん、かよちゃん



市民によるまちづくり活動の活性化...▶ いきいきとまちづくり活動ができるまち

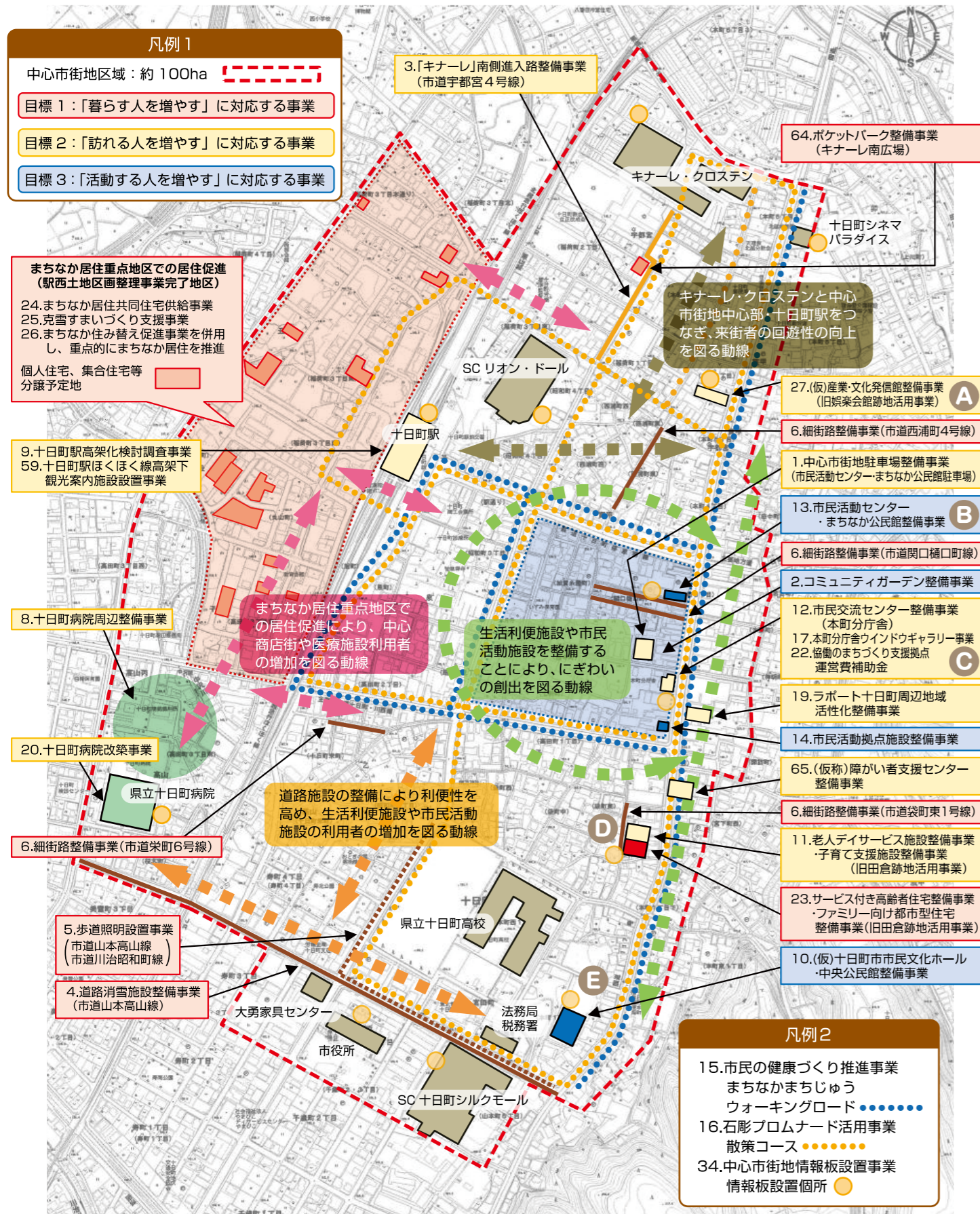
- 市民活動・交流のための拠点を重点的に整備するほか、市民のまちづくり活動への支援や、地域コミュニティの活性化を図ります。

- 市民活動センター・まちなか公民館整備事業
- コミュニティガーデン整備事業
- (仮称)十日町市市民文化ホール、中央公民館整備事業 ほか

子育てサークルを立ち上げたまあこさん



中心市街地の位置及び区域と主な事業



A 「十日町産業文化発信館 いこて」

●産業・文化発信館整備事業
楽しく歩く環境をつくることにより、「訪れる人」を増やします。



D 「アップルとおかまち」

●サービス付き高齢者住宅整備事業・ファミリー向け都市型住宅整備事業
●老人デイサービス施設整備事業・子育て支援施設整備事業
子育て世代や高齢者への快適な住居環境と生活サービスの提供により「暮らす人」「訪れる人」を増やします。



B 市民活動センター・まちなか公民館整備事業
市民の活動する場を整備し、「活動する人」を増やします。



C 市民交流センター整備事業
市内外の人々の交流の場を整備し、「訪れる人」を増やします。



E (仮称)十日町市市民文化ホール中央公民館整備事業
市民活動・交流のための拠点施設を整備し、「活動する人」を増やします。

今、そしてこれから必要なこと…

十日町市では、「新たなにぎわい」に満ちた「魅力あるまち」の創造をテーマに掲げ、中心市街地の活性化に取り組んでいます。

「選ばれて住み継がれる十日町市」を創り出すためには、まず、中心市街地に市の「顔」そして「拠り所」としての活力を取り戻し、その効果を市全体に波及させていくことが大切です。そのためには、まちなかへの民間投資の促進などをはじめ、市民の皆さん一人一人・地域・事業者・関係団体・行政など、さまざまな分野で活動する人々の主体的な参加が必要です。



花と緑のプロジェクト

中心市街地活性化の推進体制

十日町市中心市街地活性化協議会（事務局：十日町商工会議所）

十日町商工会議所（経済力の向上を推進する者）と中心市街地整備推進機構（都市機能の増進を推進する者）であるNPO法人にぎわいが中心となり、平成24年9月に設立されました。中心市街地活性化基本計画に登載される事業を行なう民間事業者や関係機関・団体・行政などで構成され、十日町市中心市街地活性化基本計画に対して意見を述べるほか、各事業の進捗などについて協議・提言を行ないます。

http://www.tokamachi-cci.or.jp/page_activate.shtml

「NPO法人にぎわい」とは・・・



<http://nigiwai.biz/>

主に中心市街地のまちづくり活動などに関わってきた市民が中心となり、中心市街地で様々な活動を積極的に展開している市民団体に対して、活動の場の提供や広報情報の提供、団体活動支援などを行ない、その連携を図ることで、中心市街地における交流人口の拡大やにぎわいの創出に寄与することを目的に、平成24年6月に設立されました。

平成24年8月には、十日町市から中心市街地整備推進機構として指定され、中心市街地（まちなか）の新たなにぎわい創出を目指し、「十日町を日本一楽しいまちにしよう」をスローガンに掲げ、FM番組による情報発信や収集のほか、小学生や高校生が参画するイベント実施などの活動を展開しています。



<http://www.facebook.com/chukatsusinpo>

【十日町なか元気プロジェクト】展開中

中心市街地に限らず、地域の活性化（にぎわいの創出）には、いろいろな世代の皆さんや商店街など関係者の皆さん自ら「何が必要か!？」を主体的に考え・行動することが欠かせません。中でも、もっとも大切なことは「市民の皆さん自ら中心市街地（地域）の将来について“つながって・一緒に考えて・行動する”環境づくり」だと考えています。

公式フェイスブックページでは、まちなかのにぎわいに関する情報を共有・発信しています。「いいね！」お待ちしております。

十日町市中心市街地活性化基本計画 概要パンフレット（平成25年6月認定）

新潟県十日町市産業観光部中心市街地活性化推進室
〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地
☎025-757-3111 FAX025-752-4635